

平成29年度の事業報告書
 平成28年12月1日から平成29年11月30日まで
 特定非営利活動法人アンダーウォータースキルアップアカデミー

1 事業の成果

- ・ 28年4月から公益社団法人日本水難救済会「静岡広域DRS救難所」として水難救助活動及びレジャーダイビングの安全啓発活動を行っていることもあり、水難事故発生時に関係機関からの出動要請も増えてきた。これまでは伊東市内の活動が中心であったが、会員も伊豆半島全域に増えてきたため西伊豆でも捜索訓練を始め、水難救助体制の構築が広域に広がり始めた。
- ・ 津波等の災害に備えた官民合同訓練にも参加して、ダイバーによる救助活動や災害後の海中の確認作業をデモンストレーションする機会も増えてきた。
- ・ 上記以外には以下の事業を実施した。

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

事業名	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数
① ダイバーのダイビング技術向上に関する事業	静岡東部（順天堂静岡病院）ドクターヘリ合同勉強会の運営支援	(④ 水難救助等に関する事業、 ⑤ 地域の安全を援助する事業欄参照)	
	水難救助訓練（潜水捜索訓練）を開催		
② 水中考古学に関する事業	(本事業年度は実施しなかった)		
③ 水辺の保全に関する事業	環境の保全を図るための地域の水中清掃を実施	(A) H28年12月16日 (B) 神奈川県芦ノ湖 (C) 3人	(D) 水辺を利用する市民 (E) 不特定多数
	伊豆高原メガソーラー建設から海を守る会としての活動	(A) H29年3月～11月 (B) 静岡県伊東市を中心 (C) 2人	(D) 海を職場として働く市民 (E) 多数
④ 水難救助等に関する事業	水難救助活動	(A) H28年12月～H29年11月に出動12回（内救助活動5回） (B) 伊豆半島全域 (C) のべ34人	(D) 海中落水者・潜水事故者 (E) 救助者5人
	水難救助訓練（潜水捜索訓練）を開催	(A) H29年2/20、3/14、7/12 (B) 伊豆海洋公園・千本浜 (C) 46人	(D) 水辺を利用する市民 (E) 不特定多数

事業名	具体的な事業内容	(F) 当該事業の実施日 (G) 当該事業の実施場所 (H) 従事者の人数	(I) 受益対象者の範囲 (J) 人数
④ (続き) 水難救助等に関する事業	官民合同津波避難・水難救助訓練への参加	(A) H29年6月26日 (B) 熱海市 (C) 5人	(D) 一般市民 (E) 不特定多数
⑤ 地域の安全を援助する事業	海の安全・安心講座を開催	(A) H28年12月2日、 H29年7月6日 (B) 伊東市富戸 (C) 11人	(D) ダイビング事業者をはじめ一般市民 (E) 約70人
	静岡東部（順天堂静岡病院）ドクターヘリ合同勉強会の運営支援	(A) H28年12月19日 (B) 順天堂静岡病院 (C) 3人	(D) 水辺を利用する一般市民 (E) 不特定多数
	マリン・フェアに出展	(A) H29年7月8日 (B) 伊東市マリンタウン (C) 3人	(D) 水辺を利用する市民 (E) 不特定多数
	官民合同防災訓練への参加	(A) H29年7月13日 (B) 伊東市伊東港 (C) 2人	(D) 一般市民 (E) 不特定多数
	官民合同総合防災訓練への参加	(A) H29年9月3日 (B) 熱海市網代港 (C) 3人	(D) 一般市民 (E) 不特定多数
⑥ 地域の観光を援助する事業	(本事業年度は実施しなかった)		
⑦ 海浜資源の保全と有効活用等により漁村の振興を援助する事業	東日本大震災復興イベント（海産物販売）開催支援	(A) H29年3月11日・12日 (B) 伊豆海洋公園 (C) 3人	(D) 被災地の漁業関係者 (E) 多数
⑧ 職業能力の開発及び労働災害等雇用環境の整備支援に関する事業	(本事業年度は実施しなかった)		